

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス らしく			
○保護者評価実施期間	令和8年2月12日		～	令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	令和8年2月4日		～	令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して過ごせる環境・構造化された支援環境が整っている	クールダウンスペースの設置、視覚的にわかりやすい掲示、清潔な環境維持、子ども自身も掃除に参加する仕組みづくり	個別特性に応じた環境調整(視覚支援・選択支援)のさらなる充実と、環境設定の意図の職員間共有の強化
2	子どもの特性理解に基づいた専門性の高い支援ができています	アセスメントに基づいた個別支援計画の作成、日々の記録・振り返り、送迎時や面談での丁寧なフィードバック	面談未参加家庭への情報共有方法の強化、支援内容の見える化(資料化・簡素化)
3	職員間の連携・チーム支援体制が整備されてきた	支援前の打ち合わせ、役割分担の明確化、LINE等を活用した情報共有、活動をリーダーが立案したものを上司や同僚等に相談し、修正している	非常勤職員を含めたケース会議やPDCAの機会の定期化、支援方針の統一化

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との連携・第三者評価の活用が十分とは言えない	第三者評価の実施機会が少ない、地域機関や協議会への参加機会が限られている	第三者評価の導入検討、地域連携(協議会・児童センター等)への積極的参加
2	職員間の情報共有・共通理解の機会にばらつきがある	ケース会議や振り返りの機会が減少、非常勤職員との共有不足	短時間でも定期的なケース共有の実施、要点をまとめた情報共有ツールの活用(LINE等)
3	保護者・家族・地域との関わりの機会に偏りがある	親子参加会・きょうだい支援・地域交流の機会が十分に周知・活用されていない	保護者交流の機会の充実、参加しやすい形の検討、地域との関わりの見える化